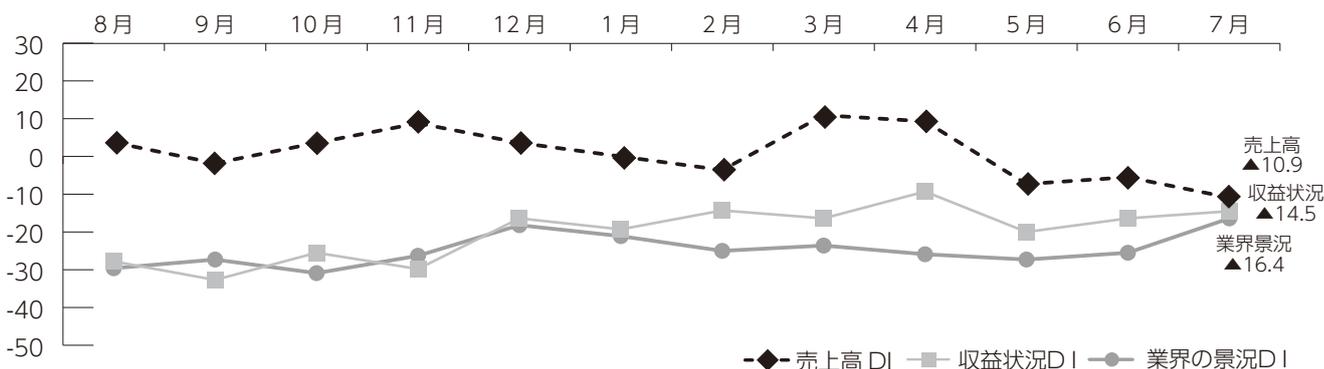


## 引き続き厳しい景況が続く中、 猛暑が悪影響を及ぼす

### 概況

光熱費、輸送費、原材料費等の高騰と人手不足が続き経営が厳しい中、価格転嫁にも苦戦している様子がみられる。また、猛暑の影響から、作業現場や工場内での熱中症対策に苦慮する声が聞こえ、菓子店、生花店、商店街からは客足が遠のき苦戦する様子が窺えた。

### 主要DIの推移（全体）



### 景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
製造業	食料品	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	繊維製品	☀️	☁️	☀️	☁️	☁️	☀️	☀️	☀️
	窯業・土石	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	機械・金属	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	その他	☀️	☁️	☀️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️
非製造業	卸売業	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	—	☁️	☁️
	小売業	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	—	☁️	☁️
	商店街	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☀️	☁️
	サービス業	☁️	—	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	建設業	☁️	—	☀️	☁️	☁️	☁️	—	☁️
	運輸業	☀️	—	☀️	☀️	☀️	☁️	—	☁️



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。  
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

## コメント掲示板

### 《製造業》

<b>食 料 品</b>	<p><b>[パン]</b> 電気料金が乱高下しており、先行きの不透明感は拭えないが、パンの需要については増加している感がある。</p> <p><b>[菓子]</b> 夏は売上が落ち込中、猛暑で午後になると来客がとだえる。</p> <p><b>[畜産食料品]</b> と畜頭数は前年同月比で豚、牛ともにプラス、カット頭数は前年同月比で豚はマイナス、牛はプラスとなり、全体で前年同月比増加しており業況は安定。</p>
<b>織 維 製 品</b>	<p><b>[織物 (伊勢崎市)]</b> 広巾織物について、秋に展示会へ出展を予定しており、売上増に期待。</p> <p><b>[インテリア関連]</b> 円安の影響から、更なる原料価格上昇を招く中、価格転嫁も思うように進まないため苦戦している状況。</p>
<b>窯業・土石</b>	<p><b>[コンクリートブロック]</b> 先月に続いて、一部原材料価格高騰の影響から製品価格調整が課題。7月後半は酷暑が続き工場内の熱中症対策が必須となった。</p> <p><b>[生コン]</b> 渋川地区及び吾妻地区で増加だったが、出荷量の多くを占める中央地区や東毛地区が減少したため、全体は減少となった。</p> <p><b>[碎石]</b> 4月に碎石価格の値上げを実施したが、7月の県基礎単価に反映されなかったため、10月の改定に期待するとともに、碎石を必要とする公共工事の増加に期待。</p>
<b>機 械 ・ 金 属</b>	<p><b>[めっき]</b> 価格転嫁に苦戦している企業が多い中、賃上げ分が加味されない状況が散見。</p> <p><b>[自動車関連 (トラック)]</b> 2024年11月の下請法改正を見据えて、支払手形のサイトを60日に変更する取引先が増加しており、資金繰りは好転する見込み。</p> <p><b>[半導体関連]</b> 前年を超える需要があり、昨年から好調が続く。</p> <p><b>[自動車関連]</b> 2月の自動車メーカー生産停止影響は若干持ち直しつつあるが、売上は前年比8～15%減。</p>
<b>そ の 他</b>	<p><b>[製材]</b> 単価上昇が見込めない中コストの増加に伴い、収益状況は大変厳しい状況。</p> <p><b>[家具]</b> 業界全体で厳しい状況が続いているが、受注状況は回復傾向にあり、来月以降も売上高は前年同月比で増加する見込み。</p> <p><b>[紙製品]</b> 長引く人手不足、燃料・電気料金の値上げ、配送運賃の高騰等が深刻で、大手のような大幅な賃上げは困難。</p>

### 《非製造業》

<b>卸 売 業</b>	<p><b>[建材]</b> 仕入価格の高騰を受け販売価格が上昇しており、秋にも仕入価格の値上げが控えている状況。業務分担や給与見直し等業務改革を進め、人手不足解消に繋がっている。</p> <p><b>[再生資源]</b> 鉄屑について、景況は弱気ムードであり、発生、荷動きも低調。</p>
<b>小 売 業</b>	<p><b>[石油]</b> 4月から6月にかけては需要減少が続いていたが、今月は気温上昇に伴い、売上は回復。一方、他業種によるアルバイトの時給高騰を受け、アルバイトの確保に苦慮。</p> <p><b>[生花]</b> 7月は例年動きが鈍い月だが、今年は猛暑の影響から例年にも増して各個店とも店頭販売に苦戦した。一方、祝賀会や講演会に伴う花の需要はコロナ前に戻った様子。</p>
<b>商 店 街</b>	<p><b>[前橋市・藤岡市]</b> おおむね晴天の中、祭りが開催され多くの人出があった一方、月の後半は猛暑と雷雨の心配からか客足が落ち込んだ。</p> <p><b>[高崎市]</b> 暑い日が続く、昼間は人通りが少ないように感じられるが、夜は週末になると駅前を中心に賑わいに溢れている。物価上昇影響で物販は厳しい状況が続く。</p>
<b>サービ 業</b>	<p><b>[建設設計]</b> 県建築設計業務等積算基準及び同要領が改定されたことに伴い、今後発注される業務に対する報酬アップに期待を寄せている。</p> <p><b>[草津温泉]</b> 平日の稼働率が減少傾向ではあったものの、全体的に宿泊単価が上がっているため、昨年と同程度の売上となった。</p> <p><b>[不動産取引]</b> 物価の上昇に伴い、建売住宅の価格が以前より上昇している中、今後、住宅ローン金利上昇の可能性もあり、動向を注視している。</p>
<b>建 設 業</b>	<p><b>[建設]</b> 労務単価が見直されることに期待を寄せているが、公共事業予算の増額が見込めない中で労務費のウエイトが大きくなり、発注件数が減少することを懸念している。</p> <p><b>[電気工事]</b> 電気工事業者は休日・夜間指定工事が多いが、働き方改革の影響からその対応要員を自社内でカバーしきれないケースが増加。人員確保のために、外注に依頼するケースもあり、結果として人件費の増加に繋がっている。また、猛暑の対策に苦慮している。</p> <p><b>[砂利採取]</b> 原石の確保が困難な中、砂の在庫量も少なく、需要が増えた場合にはひっ迫は避けられない状況。</p>
<b>運 輸 業</b>	<p><b>[一般貨物運送]</b> 猛暑の影響で飲料関係の輸送量が増加。運賃改訂は、荷主によりまちまちの状況だが、標準的な運賃には達していない様子。</p> <p><b>[貨物軽自動車運送]</b> PET (医薬品) 配送について、配送する薬剤の種類が増えたため、配車台数が増加。スポット配送の件数も増え、売上高の増加に繋がった。</p>

※本調査は、情報連絡員57人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。